

令和2年度 財政状況資料集

総括表（都道府県）

都道府県名	石川県		職員の状況				区分		令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	区分		令和2年度(千円・%)	令和元年度(千円・%)
			区分	定数	1人あたり平均 給料月額(百円)		歳入総額	歳入総額	実質収支比率	0.3	0.2			
グループ	B		知事	1	13,000		623,972,314	541,721,213	623,972,314	541,721,213	実質収支比率	0.3	0.2	
人口	令和2年国調(人)	1,132,526	副知事	2	10,200		609,964,261	530,771,463	609,964,261	530,771,463	経常収支比率	94.3	95.8	
	平成27年国調(人)	1,154,008	教育長	1	8,010		14,008,053	10,949,750	14,008,053	10,949,750	標準財政規模	(104.7)	(102.8)	
	増減率(%)	-1.9	議会議長	1	9,100		13,210,327	10,206,510	13,210,327	10,206,510	財政力指数	0.51759	0.51284	
住民基本台帳人口 (※6)	令03.01.01(人)	1,132,656	議会副議長	1	8,600		797,726	743,240	797,726	743,240	公債費負担比率	22.5	25.7	
	うち日本人(人)	1,117,188	議会議員	41	7,800		54,486	5,812	54,486	5,812	健全化判断比率	-	-	
	令02.01.01(人)	1,139,612	区分	職員数 (人)	給料月額 (百円)	1人あたり平均 給料月額(百円)	積立金	121	118	121	118	実質赤字比率	-	-
	うち日本人(人)	1,123,115	一般職員	4,374	13,996,800	3,200	積立金取崩し額	1,405,194	0	1,405,194	0	連結実質赤字比率	-	-
	増減率(%)	-0.6	うち消防職員	-	-	-	実質単年度収支	-1,350,587	3,070,030	-1,350,587	3,070,030	実質公債費比率	12.7	12.9
面積(km ²)	4,186		うち技能労務職員	145	435,290	3,002	基準財政収入額	133,176,397	132,289,022	133,176,397	132,289,022	将来負担比率	213.9	215.9
	人口密度(人/km ²)	271		警察官	2,003	6,209,300	3,100	標準財政需要額	255,662,994	252,012,040	255,662,994	252,012,040	資金不足比率(※4)	-
世帯数(世帯)	469,910		教育公務員	8,164	28,958,742	3,547	標準税収入額等	165,141,649	165,878,267	165,141,649	165,878,267			
			臨時職員	521	1,350,953	2,593	経常経費充当一般財源等	294,077,763	293,420,144	294,077,763	293,420,144			
			合計	15,062	50,515,795	3,354	歳入一般財源等	383,066,295	350,234,298	383,066,295	350,234,298			
			ラスパイレズ指数	99.8			地方債現在高	1,205,147,011	1,199,880,184	1,205,147,011	1,199,880,184			
							うち公的資金	168,194,873	185,293,455	168,194,873	185,293,455			
							債務負担行為額(支出予定額)	37,078,086	40,762,936	37,078,086	40,762,936			
							収益事業収入	2,729,604	2,859,830	2,729,604	2,859,830			
							定額運用基金	13,768,497	13,768,416	13,768,497	13,768,416			
							土地開発基金	4,150,800	4,150,719	4,150,800	4,150,719			
							積立金 現在高	10,802,801	11,836,254	10,802,801	11,836,254			
							減債基金	38,222,133	38,221,388	38,222,133	38,221,388			
							その他特定目的基金	70,249,352	66,588,179	70,249,352	66,588,179			

一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(10)	石川県国民健康保険特別会計	(12)	石川県立中央病院事業会計	(17)	石川県港湾整備特別会計			(18)	石川県産業創出支援機構	○
(2)	石川県証紙特別会計	(11)	石川県公営競馬特別会計	(13)	石川県立高松病院事業会計					(19)	石川県民ふれあい公社	
(3)	石川県土地取得特別会計			(14)	石川県水道用水供給事業会計					(20)	石川県農業開発公社	
(4)	石川県母子父子寡婦福祉資金特別会計			(15)	石川県流域下水道事業会計					(21)	石川県林業公社	○
(5)	石川県中小企業近代化資金貸付金特別会計			(16)	石川県港湾土地造成事業会計							
(6)	石川県林業改善資金特別会計											
(7)	石川県沿岸漁業改善資金特別会計											
(8)	石川県育英資金特別会計											
(9)	石川県公債管理特別会計											

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、令和元年度は「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を、令和2年度は「減収補償(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※6: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (都道府県)

歳入の状況 (単位 千円・%)				道府県税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	169,068,117	27.1	137,045,267	48.8	普通税	169,057,034	100.0	1,080,721
地方譲与税	18,520,475	3.0	18,520,475	6.6	法定普通税	168,286,582	99.5	1,080,721
地方揮発油譲与税	1,833,909	0.3	1,833,909	0.7	道府県民税	48,860,343	28.9	1,080,721
地方道路譲与税	-	-	-	-	個人均等割	1,214,951	0.7	300,042
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	40,663,548	24.1	-
石油ガス譲与税	72,942	0.0	72,942	0.0	法人均等割	1,874,736	1.1	89,096
自動車重量譲与税	123,634	0.0	123,634	0.0	法人税割	2,788,221	1.6	691,583
航空機燃料譲与税	2,905	0.0	2,905	0.0	利子割	255,797	0.2	-
森林環境譲与税	63,494	0.0	63,494	0.0	配当割	919,851	0.5	-
特別法人事業譲与税	16,423,591	2.6	16,423,591	5.8	株式等譲渡所得割	1,143,239	0.7	-
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	事業税	34,355,118	20.3	-
地方特例交付金	941,056	0.2	941,056	0.3	個人分	1,698,025	1.0	-
個人住民税減収補填特例交付金	673,530	0.1	673,530	0.2	法人分	32,657,093	19.3	-
自動車税減収補填特例交付金	267,526	0.0	267,526	0.1	地方消費税	52,691,967	31.2	-
地方交付税	125,944,251	20.2	122,463,648	43.6	不動産取得税	2,766,546	1.6	-
普通交付税	122,463,648	19.6	122,463,648	43.6	道府県たばこ税	1,166,353	0.7	-
特別交付税	3,469,341	0.6	-	-	ゴルフ場利用税	467,783	0.3	-
震災復興特別交付税	11,262	0.0	-	-	軽油引取税	9,421,207	5.6	-
(一般財源計)	314,473,899	50.4	278,970,446	99.4	自動車税	18,556,913	11.0	-
交通安全対策特別交付金	288,435	0.0	288,435	0.1	鉱区税	352	0.0	-
分担金・負担金	4,107,299	0.7	-	-	固定資産税特例	-	-	-
使用料	5,209,070	0.8	1,126,345	0.4	法定外普通税	770,452	0.5	-
手数料	1,752,750	0.3	-	-	目的税	11,083	0.0	-
国庫支出金	144,380,591	23.1	-	-	法定目的税	11,083	0.0	-
国有提供交付金	-	-	-	-	狩猟税	11,083	0.0	-
財産収入	1,332,824	0.2	175,764	0.1	法定外目的税	-	-	-
寄附金	232,194	0.0	-	-	旧法による税	-	-	-
繰入金	3,526,201	0.6	-	-	合計	169,068,117	100.0	1,080,721
繰越金	10,578,130	1.7	-	-				
諸収入	50,676,921	8.1	204,110	0.1				
地方債	87,414,000	14.0	-	-				
うち減収補填債(特例分)	10,062,000	1.6	-	-				
うち猶予特例債	1,014,000	0.2	-	-				
うち臨時財政対策債	19,933,000	3.2	-	-				
歳入合計	623,972,314	100.0	280,765,100	100.0				

区分		令和2年度		令和元年度	
徴収率 (%)	現計	98.6	98.0	99.4	98.6
	道府県民税	98.9	96.7	99.1	96.9
	事業税	97.6	97.2	99.9	99.5
国民健康保険		実収取支		2,913,395	
事業会計の状況		再差引収支		2,913,395	

歳出の状況 (単位 千円・%)				
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	1,071,238	0.2	-	1,071,229
総務費	26,052,509	4.3	6,753,733	18,261,247
民生費	83,624,297	13.7	1,511,835	67,069,196
衛生費	50,525,488	8.3	1,791,471	12,050,813
労働費	3,155,913	0.5	55,200	1,999,857
農林水産業費	38,013,169	6.2	19,083,890	9,935,224
商工費	66,968,355	11.0	2,625,518	32,282,098
土木費	85,338,963	14.0	72,292,467	13,438,461
警察費	24,771,007	4.1	1,943,222	21,611,579
消防費	-	-	-	-
教育費	110,907,225	18.2	7,592,923	78,724,202
災害復旧費	2,045,712	0.3	-	6,707
公債費	87,318,708	14.3	-	86,222,418
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
利子割交付金	148,228	0.0	-	148,228
配当割交付金	546,697	0.1	-	546,697
株式等譲渡所得割交付金	678,881	0.1	-	678,881
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	26,448,529	4.3	-	26,448,529
ゴルフ場利用税交付金	323,576	0.1	-	323,576
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	-	-	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-
自動車税環境性能割交付金	453,274	0.1	-	453,274
法人事業税交付金	1,572,492	0.3	-	1,572,492
特別区財政調整交付金	-	-	-	-
歳出合計	609,964,261	100.0	113,650,259	372,844,708

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	228,843,823	37.5	202,574,451	200,342,125	64.3
人件費	130,705,859	21.4	109,672,081	107,439,755	34.5
うち職員給	94,025,223	15.4	76,388,907	76,375,506	24.5
扶助費	10,922,538	1.8	6,783,234	6,783,234	2.2
公債費	87,215,426	14.3	86,119,136	86,119,136	27.6
元利償還金	87,214,718	14.3	86,118,428	86,118,428	27.6
うち元金	82,147,173	13.5	81,107,820	81,107,820	26.0
うち利子	5,067,545	0.8	5,010,608	5,010,608	1.6
一時借入金利子	708	0.0	708	708	0.0
その他の経費	265,424,467	43.5	159,681,496	93,735,638	30.1
物件費	21,660,831	3.6	13,535,072	12,103,469	3.9
維持補修費	7,059,416	1.2	4,718,650	4,637,319	1.5
補助費等	184,428,772	30.2	130,847,083	70,540,566	22.6
繰出金	6,059,064	1.0	6,007,181	5,846,978	1.9
積立金	5,783,007	0.9	3,966,135	-	-
投資及び出資金	69	0.0	69	-	-
貸付金	40,433,308	6.6	607,306	607,306	0.2
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	115,695,971	19.0	10,588,761	-	-
うち人件費	2,410,869	0.4	2,410,869	-	-
普通建設事業費	113,650,259	18.6	10,582,054	-	-
うち補助	74,302,066	12.2	2,465,767	-	-
うち単独	29,879,538	4.9	8,023,632	-	-
災害復旧事業費	2,045,712	0.3	6,707	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	609,964,261	100.0	372,844,708	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

令和2年度 石川県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	656,572	644,745	11,827	798		1,197,991	
2 石川県証紙特別会計	4,350	3,129	1,221	-			
3 石川県土地取得特別会計	6	6	0	-			
4 石川県母子父子寡婦福祉資金特別会計	155	103	52	-		702	
5 石川県中小企業近代化資金貸付金特別会計	519	367	152	-		13,575	
6 石川県林業改善資金特別会計	190	0	190	-			
7 石川県沿岸漁業改善資金特別会計	248	0	248	-			
8 石川県英資特別会計	1,743	204	1,539	-			
9 石川県公債管理特別会計	167,713	167,713	0	-			
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							

(3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

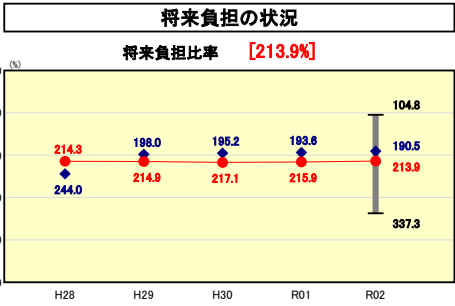
令和2年度

石川県

人	1,132,656	人(R3.1.1現在)	-	%
うち日本人	1,117,188	人(R3.1.1現在)	-	%
面積	4,186.21	km ²	-	%
歳入総額	623,972,314	千円	213.9	%
歳出総額	608,964,261	千円		
実収支	797,726	千円		
標準財政規模	307,539,184	千円		
地方債現在高	1,206,147,011	千円		

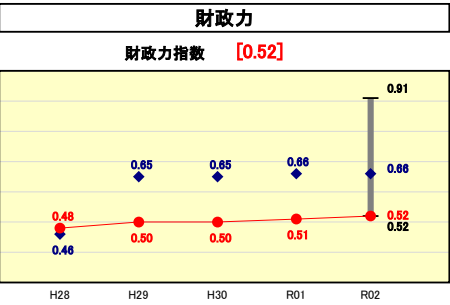


※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



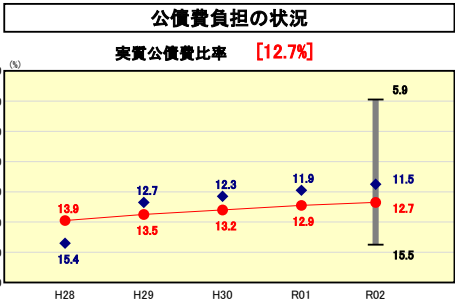
将来負担比率の分析欄

令和2年度は、退職手当負担見込額が減少したことなどの影響により、前年度に比べ、2.0ポイント低下となった。



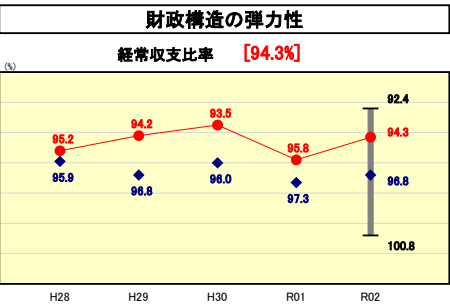
財政力指数の分析欄

単年度の財政力指数は、新型コロナウイルス感染症等の影響による税収の落ち込みなどの要因により、昨年度から微減(0.525→0.521(小数点第4位を四捨五入))となったが、3カ年平均値は、比較対象である3年前のH29指数(0.507)を上回ったことから、0.01ポイント上昇の0.52となった。



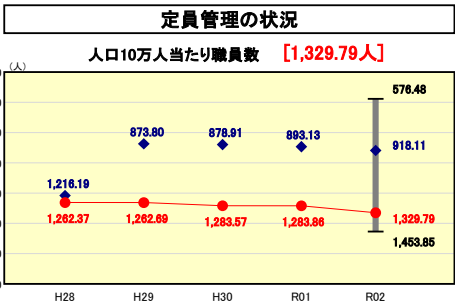
実質公債費比率の分析欄

令和2年度は、これまでの県債残高の抑制や県債の繰上償還による公債費負担の平準化といった財政健全化に向けた取り組みの効果が反映されたことにより、比率が0.2ポイント低下した。



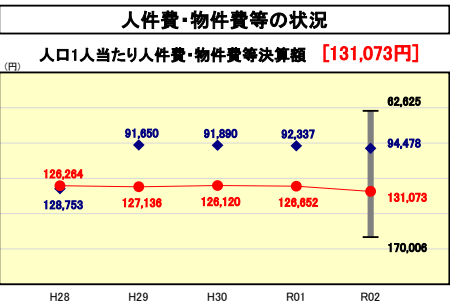
経常収支比率の分析欄

令和2年度は、収入面では、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、法人関係税が前年度を下回ったが、その減収分を補うため、減収補てん債と猶予特別債を発行した。一方で、歳出面では、県債残高の抑制などに伴い、公債費が減少した結果、経常収支比率は、前年度から1.5ポイント改善した。
 今後も社会保障関係経費の増加が見込まれる厳しい財政状況が予想されることから、引き続き、歳入の確保や歳出全般にわたる見直しなど、行財政改革に不断に取り組み、社会経済情勢の変化にも機動的に対応できる持続可能な財政運営に努めていく。



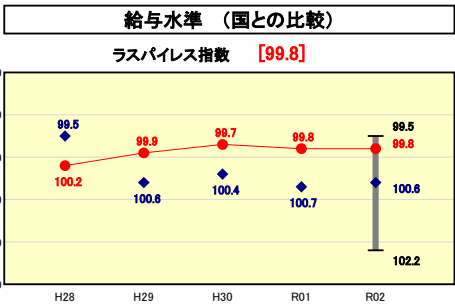
人口10万人当たり職員数の分析欄

教員・警察官を含む人口10万人当たりの職員数は、グループ内では人口が最も少ないため順位が低くなっているが、当県との人口差が20万人程度の人口類似県の中では最も少ない職員数となっている。
 知事部局職員数については、平成15年度から数値目標を掲げて削減に取り組み、平成27年度までに約700人を削減した結果、半世紀前の水準以下となっており、平成28年度以降は「行財政プログラム」に基づき、組織や事務事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、適正な定員管理に努めている。



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

令和2年度は、大雪による除雪費の増加に伴い、維持補修費が前年度から大幅に増加したことに加え、新型コロナウイルスの感染者を受け入れの療養施設の借り上げに伴い、物件費が増加した結果、1人当たり人件費・物件費等の決算額は、前年度から増加した。
 こうした不測の事態にも備えるため、今後とも、県行政の守備範囲の見直しや民間ノウハウの積極的な活用など、業務の効率化を推進し、経費の抑制を図る。



ラスパイレズ指数の分析欄

平成28年度及び平成29年度の給与改定においては、国家公務員の給与水準との均衡を図るため、国の改定後の俸給が本県を上回る部分(主に若年層)のみの増額改定としたため、給料改定率が国より小さくなり、平成30年4月の指数は100.0を下回った。令和元年度の給与改定においては、給料改定の改定率が国を上回ったため、令和2年4月の指数は99.8と前年に比べ上昇した。令和3年4月の指数は99.8で前年と変わらず、4年連続で100.0を下回っている。
 今後とも、民間給与の状況や国・他県の動向等を踏まえながら、一層の給与の見直し・適正化に努めることとしている。

(4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

令和2年度

石川県

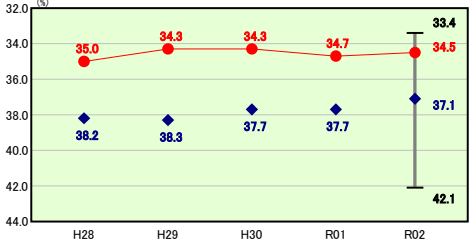
経常収支比率の分析

人口	1,132,656	人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,117,188	人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	4,186.21	km ²	実質公債費比率	12.7	%
歳入総額	623,972,314	千円	将来負担比率	213.9	%
歳出総額	609,964,261	千円	グループ	H28 C H29 B H30 B	
実質収支	797,726	千円	(年度毎)	R01 B R02 B	
標準財政規模	307,539,184	千円			
地方債現在高	1,206,147,011	千円			

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1,000以上、Bグループ 0.500以上1,000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。

人件費

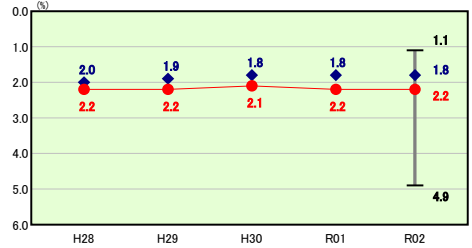
グループ内順位 4/21 都道府県平均 36.3



人件費の分析欄
 平成14年度以降取り組んできた職員数の削減(約700人削減)により、グループ内でも低い水準となっている。
 今後も業務のあり方を不断に見直すことにより定数管理を徹底し、総人件費の適正な管理に努めていく。

扶助費

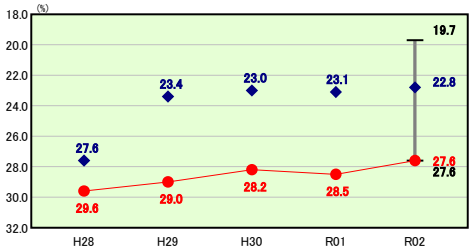
グループ内順位 18/21 都道府県平均 1.9



扶助費の分析欄
 令和2年度は、例年並みの2.2ポイントとなった。
 今後も、高齢化の進展による社会保障関係経費の増加が見込まれ、県財政を圧迫する極めて厳しい状況が予想される。

公債費

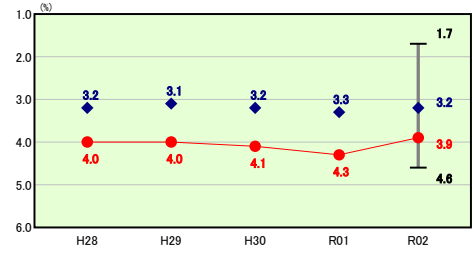
グループ内順位 21/21 都道府県平均 21.5



公債費の分析欄
 パブル経済崩壊以降、国の経済対策に呼応し、他県に比して積極的に公共投資を実施した結果、社会資本の整備は進んだものの、県債残高が増加し、公債費はグループ内では最も高い水準にある。
 今後も北陸新幹線建設等による公債費負担の本格化が見込まれることから、県債の新規発行抑制や償還期間の延長(20年→30年)、繰上償還等により公債費の平準化対策を講じ、将来の財政負担の軽減を図っている。

物件費

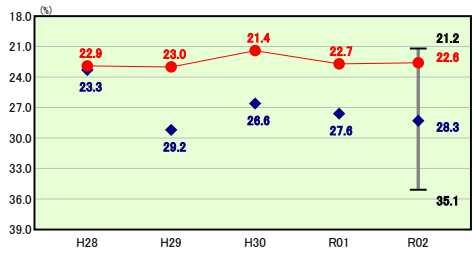
グループ内順位 18/21 都道府県平均 3.8



物件費の分析欄
 令和2年度は、会計年度任用職員への移行による賃金の減少により、前年度から0.4ポイント減となっている。
 今後とも、県行政の守備範囲の見直しや民間ノウハウの積極的な活用など、業務の効率化を推進し、経費の抑制を図る。

補助費等

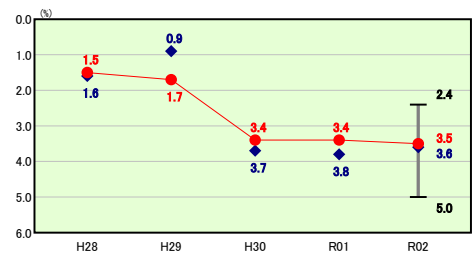
グループ内順位 3/21 都道府県平均 27.1



補助費等の分析欄
 令和2年度は、施設型給付費負担金など幼児教育無償化に係る経費が増加した一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による医療機関の受診控えなどから、後期高齢者医療給付費や児童の医療費補助金が減少となった結果、前年度並みとなっている。
 今後も、高齢化の進展による社会保障関係経費の増加が見込まれ、県財政を圧迫する厳しい状況が予想される。

その他

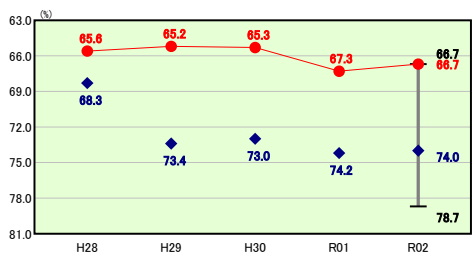
グループ内順位 8/21 都道府県平均 3.8



その他の分析欄
 平成30年度に、中小企業チャレンジ支援ファンド拡充に係る貸付(50億円)や、県が国民健康保険の財政運営の責任主体となったことに伴い、県負担金(51億円)が国民健康保険特別会計への繰入金となったことから、+1.7ポイントと大幅に上昇したが、令和元年度に引き続き、令和2年度も前年度並みとなっている。
 このほか、今後も施設の老朽化に伴う維持補修費の増加が予想されることから、引き続き、歳出全般にわたる見直しに努めていく。

公債費以外

グループ内順位 1/21 都道府県平均 72.9



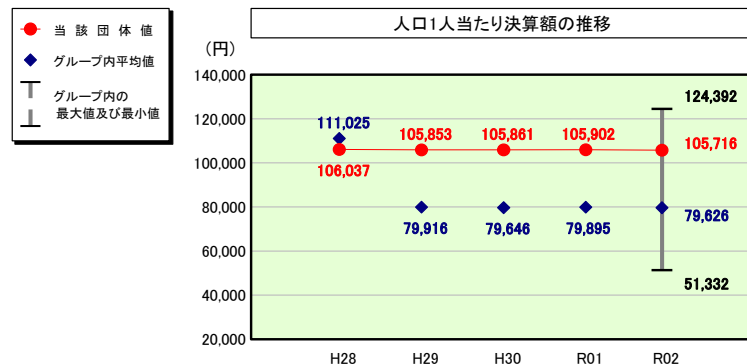
公債費以外の分析欄
 人件費がグループ内でも低い水準となっている一方で、その他の経費は概ねグループ平均と同程度であることから、公債費以外の比率はグループ内で最も低い水準となっている。
 今後も適正な定員管理や一般行政経費、投資的経費の抑制など、歳出全般にわたる一層の見直しに努めていく。

(4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

令和2年度

石川県

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

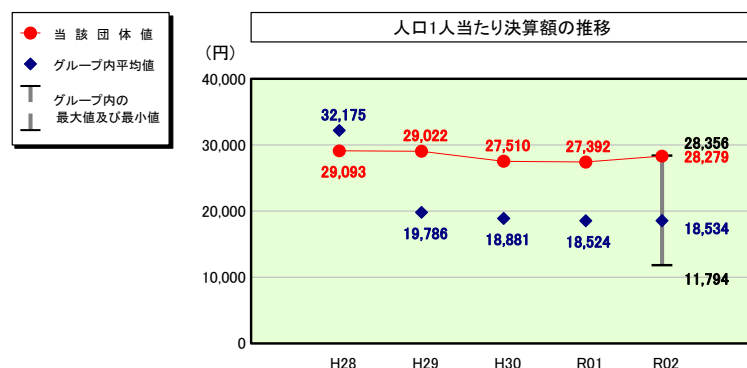
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額	
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円) 対比 (%)
人件費	130,705,859	115,398	84,919 35.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	594 -
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	- -
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	8 -
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	2,410,869	2,129	1,144 86.1
▲退職金	▲13,376,451	▲11,810	▲7,039 67.8
合計	119,740,277	105,716	79,626 32.8

参考

	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	1,329.79	918.11	411.68
ラスバイレス指数	99.8	100.6	▲0.8

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

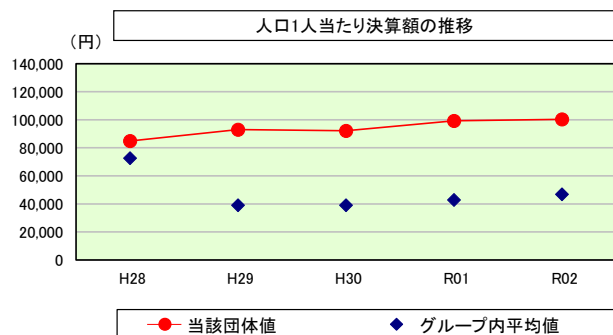
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額	
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円) 対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	85,366,718	75,369	25,939 190.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	1,693 -
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	1,593,067	1,406	19,271 ▲92.7
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	2,488,528	2,197	905 142.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	52 -
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	426 -
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1 -
▲特定財源の額	▲1,096,290	▲968	▲1,801 ▲46.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲56,321,734	▲49,725	▲27,953 77.9
合計	32,030,289	28,279	18,534 52.6

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	グループ内平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H28	97,928,284	84,887	14.2	72,635	6.9	7.3
うち単独分	30,805,150	26,703	13.2	18,276	4.4	8.8
H29	107,079,789	93,081	9.7	39,075	▲46.2	55.9
うち単独分	34,150,167	29,686	11.2	13,441	▲26.5	37.7
H30	105,571,831	92,126	▲1.0	39,072	0.0	▲1.0
うち単独分	36,523,247	31,872	7.4	14,106	4.9	2.5
R01	113,083,381	99,230	7.7	42,833	9.6	▲1.9
うち単独分	36,791,175	32,284	1.3	15,211	7.8	▲6.5
R02	113,650,259	100,340	1.1	46,888	9.5	▲8.4
うち単独分	29,879,538	26,380	▲18.3	14,375	▲5.5	▲12.8
過去5年間平均	107,462,709	93,933	6.3	48,101	▲4.0	10.3
うち単独分	33,629,855	29,385	3.0	15,082	▲3.0	6.0

(5) 都道府県性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

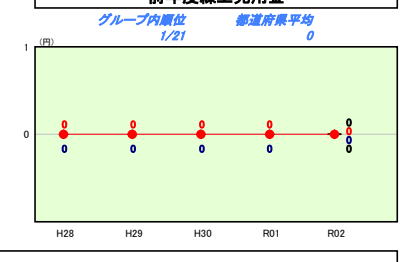
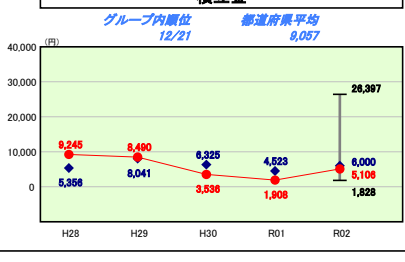
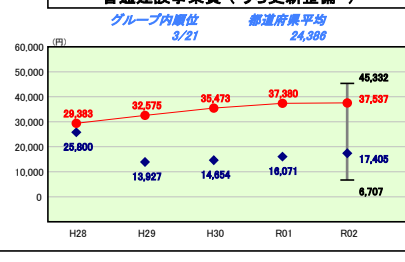
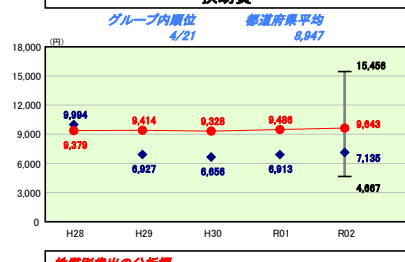
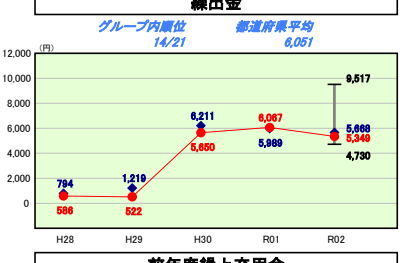
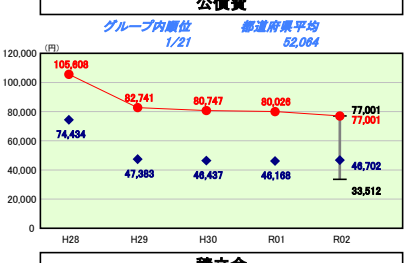
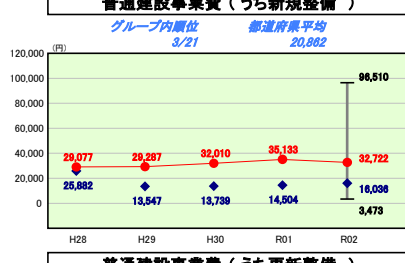
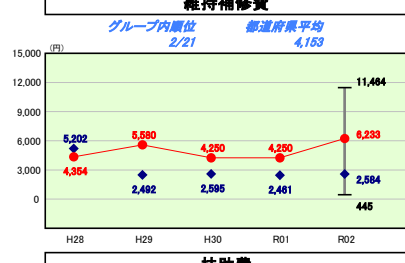
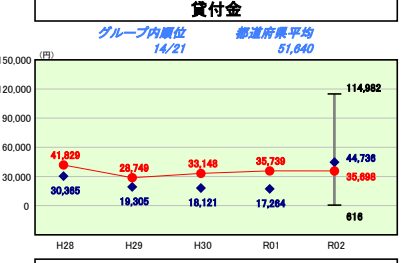
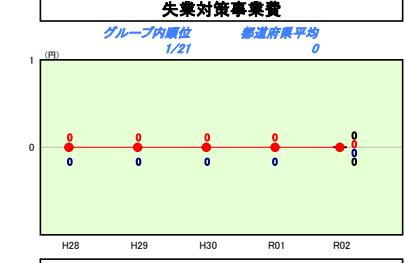
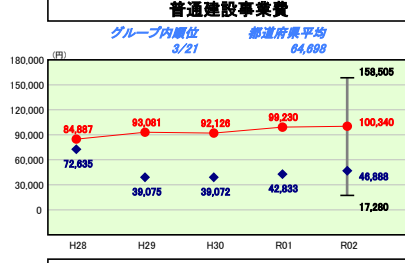
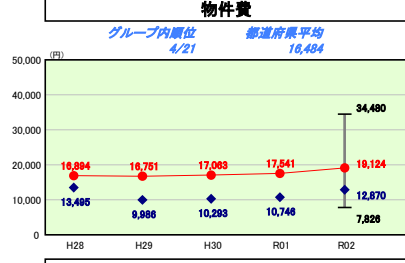
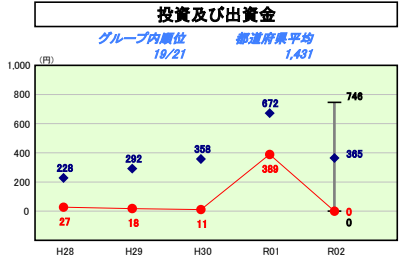
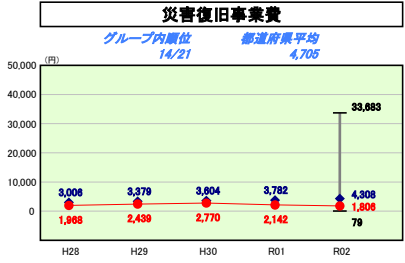
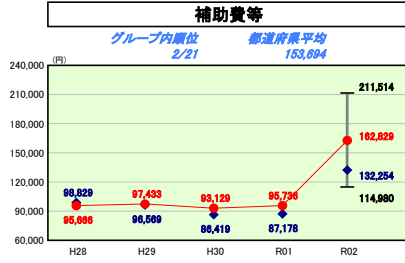
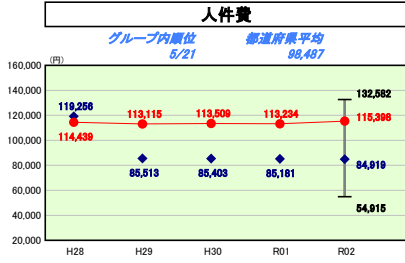
令和2年度

石川県

人口	1,132,656 人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	1,117,188 人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	4,186.21 km ²	実質公債費比率	12.7 %
歳入総額	623,972,314 千円	将来負担比率	213.9 %
歳出総額	609,964,261 千円	グループ	H28 C H20 B H30 B
実質収支	797,726 千円	(年度毎)	R01 B R02 B
標準財政規模	307,638,184 千円		
地方債現在高	1,205,147,011 千円		

● 当該団体値
◆ グループ内平均値
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



性質別歳出の分析
 人件費: 平成14年度以降取り組んできた職員数の削減(約700人削減)等により、住民一人当たり職員数は人口類似県の中で最も少なくなっている。このため、職員数の削減は一段落したところであり、人件費は近年横ばいで推移している。
 維持補修費: 大雪による除雪費の増加に伴い、平成29年度と令和2年度は例年と比較して大幅に増加し、グループ内でも高い水準となっている。
 補助費等: 幼児教育無償化に伴う施設型給付費負担金など経常的な経費の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた緊急的な対策(医療機関の病床確保への支援金や経営持続への支援金など)を実施したことから、他県と同様、令和2年度は補助費が大きく増加した。
 普通建設事業費: 国の経済対策に積極的に応じてきたことや、北陸新幹線の建設工事が進められていることなどから、グループ内でも高い水準となっている。
 公債費: バブル経済崩壊以降、国の経済対策に呼応して積極的に公共投資を実施した結果、社会資本の整備は進んだものの、グループ内で最も高い水準となっている。平成28年度は、能登半島地震復興基金の終了に伴う県債の償還(250億円)により、一時的に大幅に増加している。
 積立金: 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に関する制度金融の利子補給及び信用保証料を補助するための基金の創設(30億円)などにより増加

(6)都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

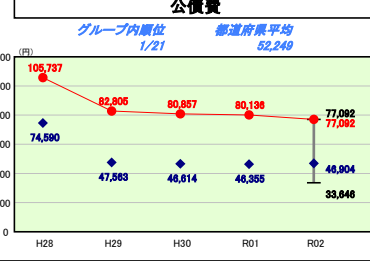
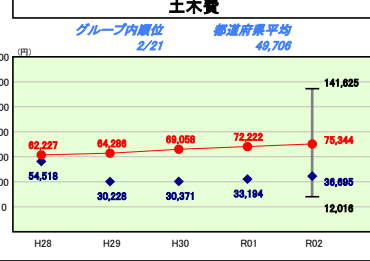
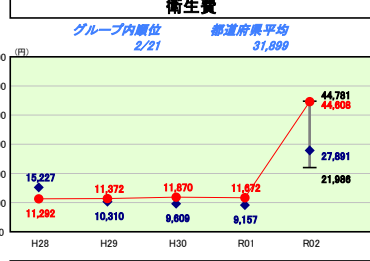
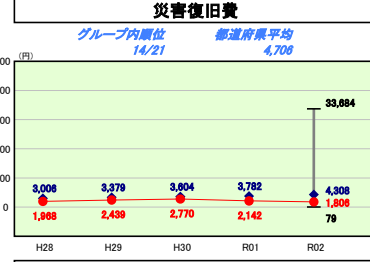
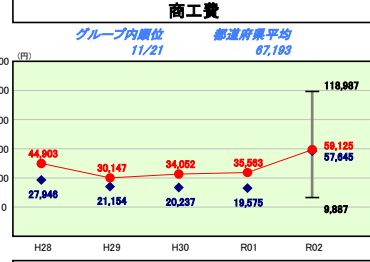
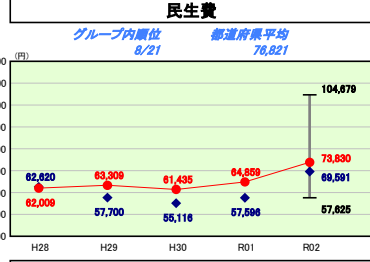
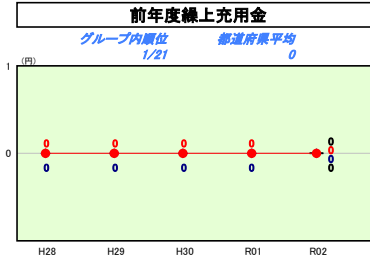
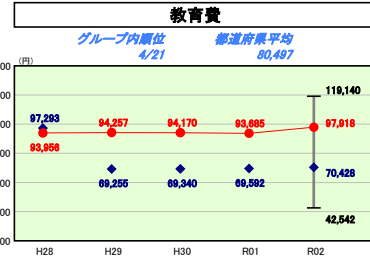
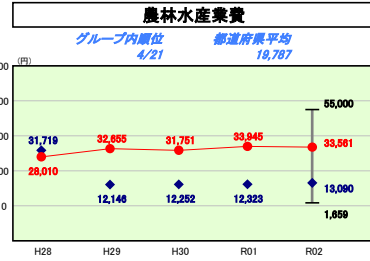
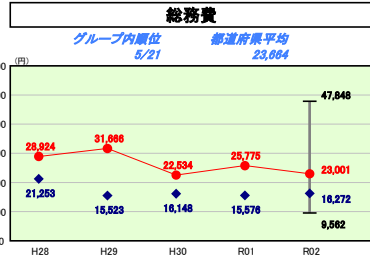
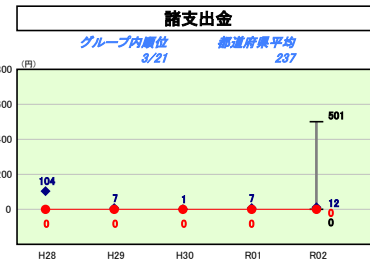
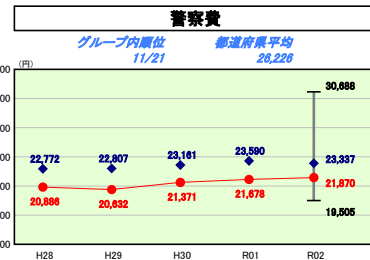
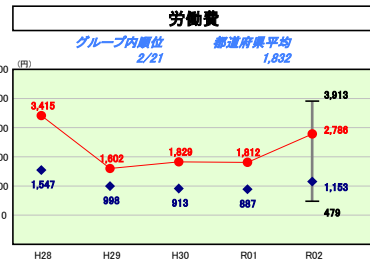
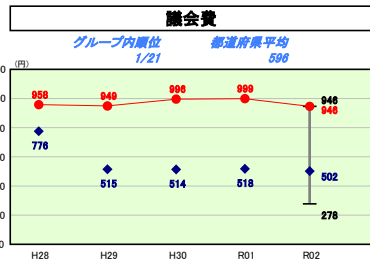
令和2年度

石川県

人口	1,132,656 人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	1,117,188 人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	4,186.21 km ²	実質公債費比率	12.7 %
入総額	623,972,314 千円	将来負担比率	213.9 %
出総額	609,964,261 千円	グループ	H28 C H20 B H30 B
実収支	797,726 千円	(年度毎)	R01 B R02 B
標準財政規模	307,638,184 千円		
地方債現在高	1,205,147,011 千円		

● 当該団体値
◆ グループ内平均値
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

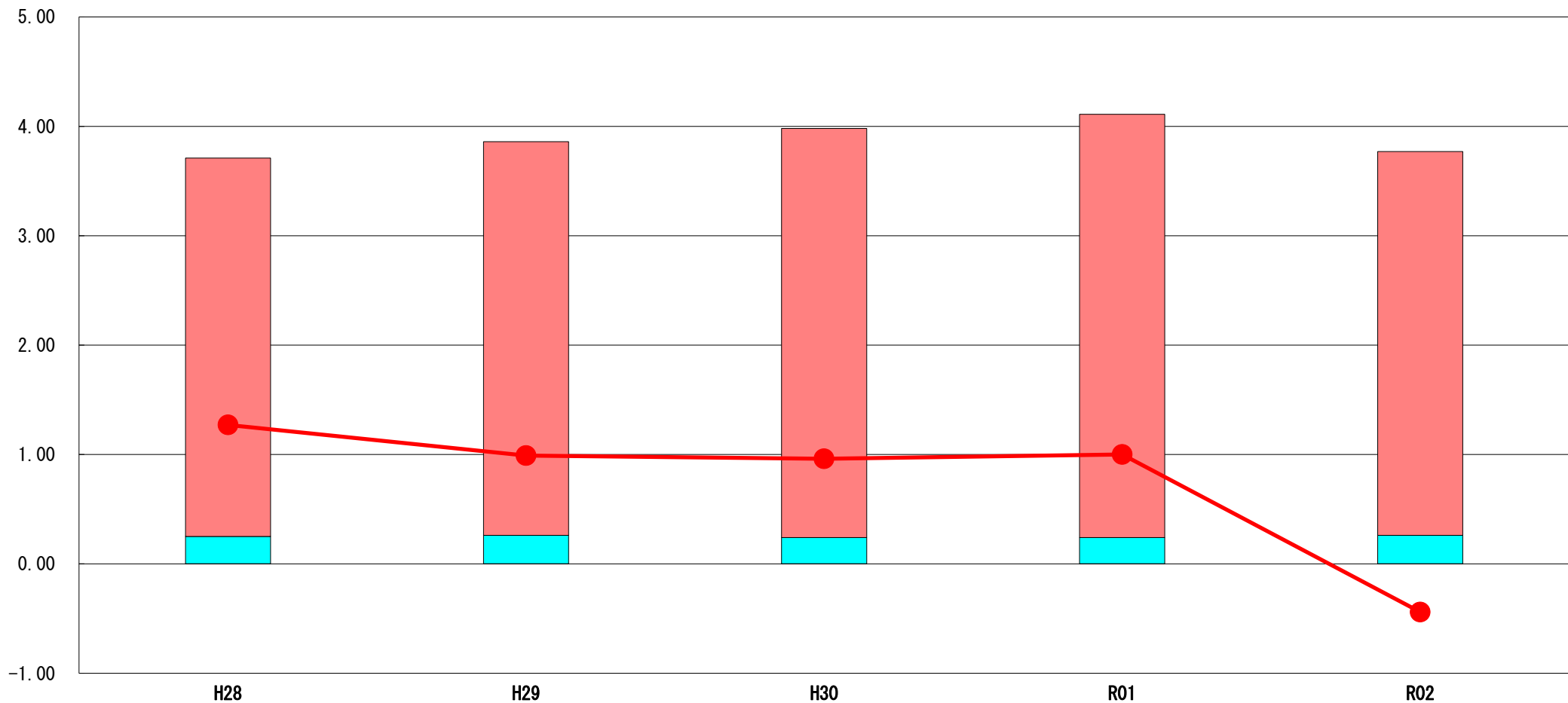
民生費：幼児教育無償化に伴う施設型給付負担金など経常的な経費の増加に加え、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変した世帯に対する生活資金の貸付に必要な経費の支出等により増加した。
 衛生費：新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、医療機関に勤務しコロナ患者と接する医療従事者や職員の労務の支給や、コロナ患者を受け入れる専用病床を確保する医療機関への支援金の支給、検査・医療提供体制等の確保・充実による拡大防止に向けた取組みにより増加した。
 労働費：近年は、景気の回復や雇用情勢の改善により推移していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい経済環境を踏まえ、事業者に対する国家支援給付金に上乗せした県独自の給付金の給付等により増加した。
 商工費：新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい経済環境の中、県内の中小企業等に対し、事業継続に向けた経営支援や、事業継続に向けた経営支援など、社会経済活動の正常化に向けた取組みにより増加した。
 土木費：国の経済対策に呼応し、積極的な公共投資を行ったことにより、近年、高い水準で推移している。令和2年度においても、国の防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策に呼応した社会資本整備の促進により増加した。
 公債費：バブル経済崩壊以降、国の経済対策に呼応し、他県に比して積極的に公共投資を実施した結果、社会資本の整備は進んだものの、県債残高が増加しており、公債費はグループ平均より高い水準にある。平成28年度は、能登半島地震復興基金の終了に伴う県債の償還(250億円)により、一時的に大幅に増加した。
 その他の経費：概ねグループ平均と同程度となっている。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）




令和2年度

石川県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H28	H29	H30	R01	R02
 財政調整基金残高		3.46	3.60	3.74	3.87	3.51
 実質収支額		0.25	0.26	0.24	0.24	0.26
 実質単年度収支		1.27	0.99	0.96	1.00	▲ 0.44

分析欄

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策による財政出動により9年ぶりに財政調整基金の取り崩し（14億円）を行った結果、基金残高は平成28年度並みとなった。また、実質収支は例年と同様に黒字となった一方で、財政調整基金を取り崩したことから、実質単年度収支は赤字となった。

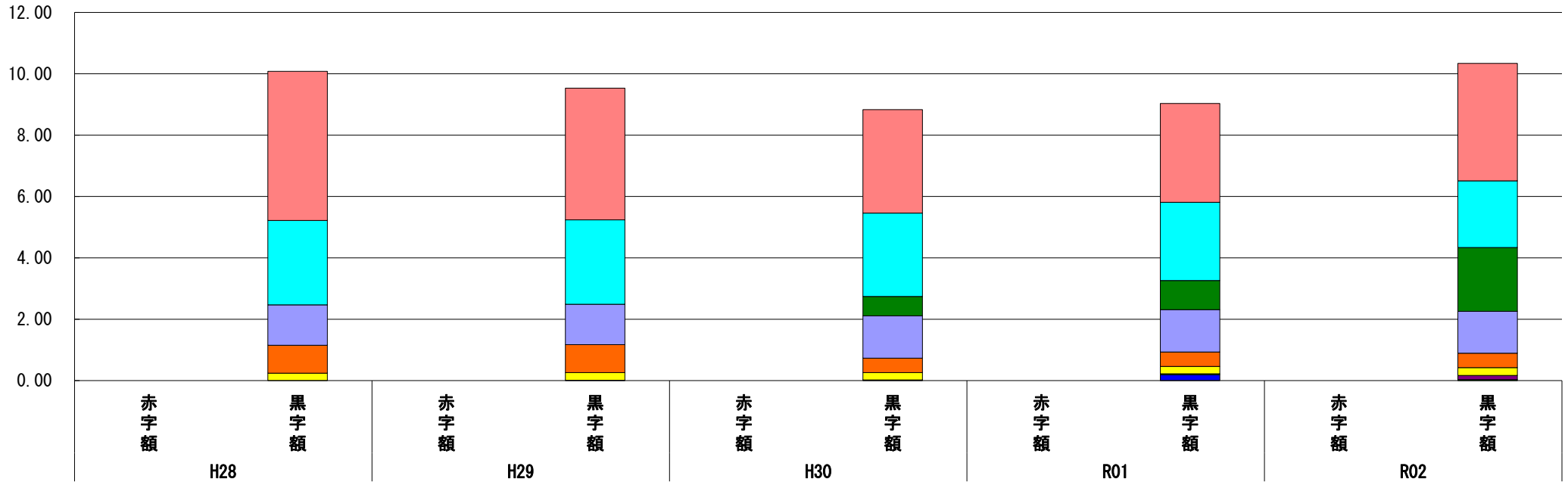
今後も新型コロナウイルス感染症の対応などにより、厳しい財政状況が想定される中、これまで以上に、施策全般にわたり事業内容を精査し、事業の選択と集中を図るとともに、引き続き、行財政改革に努め、中長期的な展望に立った持続可能な財政運営に取り組む。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

令和2年度

石川県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

年度		H28	H29	H30	R01	R02
会計						
石川県立中央病院事業会計		4.86	4.29	3.37	3.22	3.83
石川県水道用水供給事業会計		2.75	2.75	2.72	2.55	2.17
石川県国民健康保険特別会計		-	-	0.63	0.95	2.08
石川県立高松病院事業会計		1.32	1.32	1.38	1.38	1.37
石川県港湾土地造成事業会計		0.91	0.91	0.47	0.47	0.47
一般会計		0.24	0.25	0.24	0.24	0.25
石川県流域下水道事業会計		-	-	-	-	0.14
石川県公営競馬特別会計		0.00	0.00	0.02	0.03	0.03
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.01	0.00	0.19	0.00

分析欄

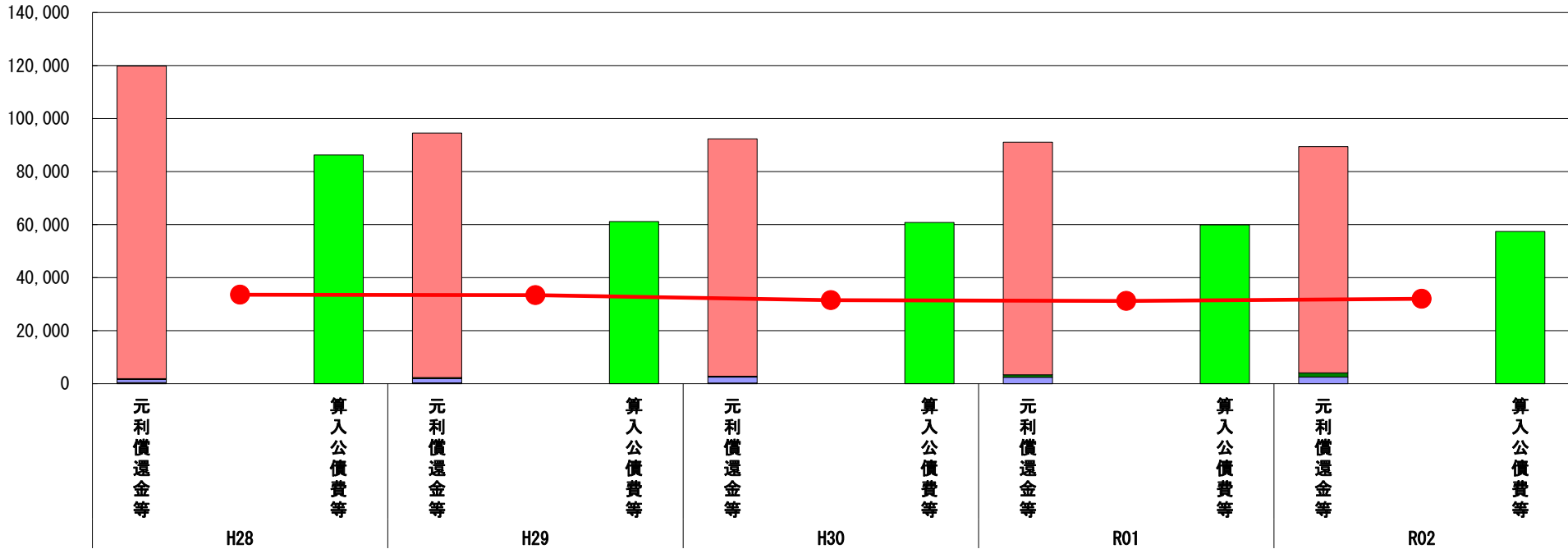
全会計で赤字は発生しておらず、健全な段階にある。
 一般会計は、通常債の現在高は減少しているものの依然として高い水準であるほか、職員の大量退職に伴う退職手当も高い水準が続くと見込んでいる。これらに加え、今後、社会保障関係経費の増加により厳しい財政状況が続く見込みである。
 病院事業会計（中央病院、高松病院）は、新規入院患者の確保等による診療報酬の増収に努めており、黒字基調で推移している。
 こうした厳しい財政状況の下で財政健全性を維持していくため、引き続き、歳入の確保、適正な定員管理、投資的経費の抑制といった歳出全般の見直しを行い、持続可能な財政基盤の確立を図っていく。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

令和2年度

石川県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
元利償還金等 (A)	元利償還金		117,883	92,185	89,532	87,761	85,367
	減債基金積立不足算定額※		3	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		333	433	367	903	1,593
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,181	1,576	2,232	2,399	2,489
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		408	330	231	32	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		86,245	61,137	60,835	59,880	57,418
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		33,563	33,387	31,527	31,215	32,031

分析欄

バブル経済崩壊以降、国の経済対策に呼応し、他県に比して積極的に公共投資を実施した結果、公債費負担は平成22年度にピークとなったが、県債の新規発行の抑制、償還期間の延長による平準化対策、繰上償還などにより、年々減少している。

(参考)

(百万円)

※ 減債基金積立状況等		年度	H27末	H28末	H29末	H30末	R01末
※ 減債基金積立状況等	減債基金残高(注)		4,528	4,528	4,528	4,528	4,901
	減債基金積立相当額		800	800	900	600	1,503

分析欄

北陸新幹線金沢・敦賀間の建設費の公債費に係る償還が今後本格化することに備えて資金を基金に積み立てていく。

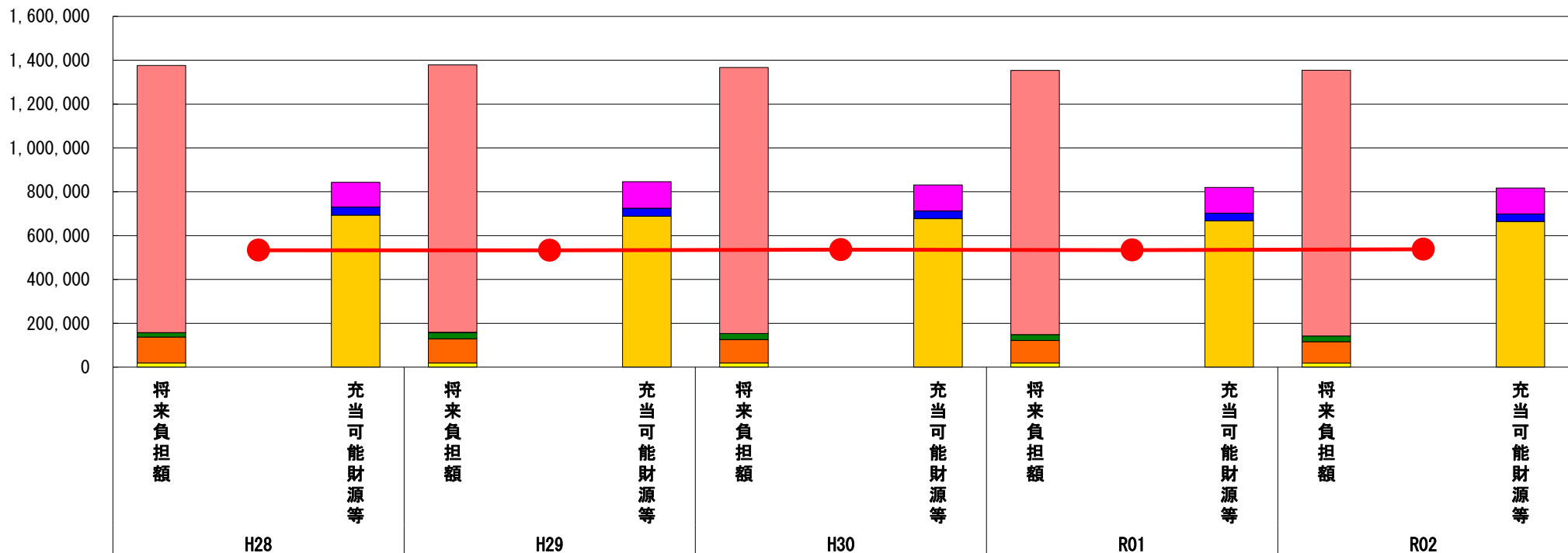
(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

令和2年度

石川県

(百万円)



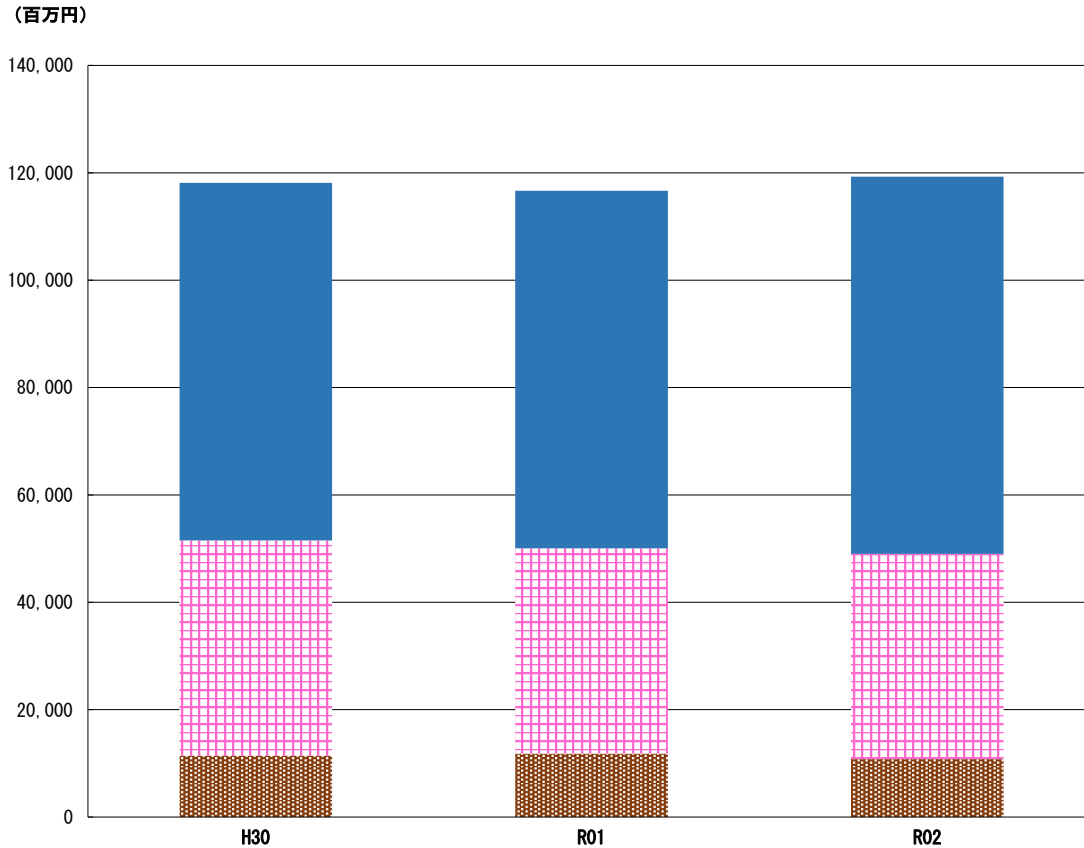
(百万円)

分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		1,218,828	1,220,134	1,213,786	1,205,476	1,212,268
	債務負担行為に基づく支出予定額		593	263	32	-	-
	公営企業債等繰入見込額		19,760	28,824	27,528	27,023	26,295
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		117,903	110,541	106,746	102,661	97,432
	設立法人等の負債額等負担見込額		18,987	19,119	18,871	18,774	18,587
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		112,475	120,900	118,648	117,448	117,723
	充当可能特定歳入		36,843	36,582	35,058	34,726	34,434
	基準財政需要額算入見込額		693,672	688,569	677,527	667,689	664,884
(A) - (B)	将来負担比率の分子		533,081	532,829	535,730	534,070	537,543

分析欄

令和2年度は、減収補てん債の発行により、一般会計等に係る地方債の現在高は増加となった。
退職手当負担見込額は、行財政改革による職員数の削減等により減少している。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（都道府県）



区分	年度	H30	R01	R02
その他特定目的基金	県有施設整備基金	45,446	45,448	45,449
	社会福祉事業振興基金	4,465	4,466	4,466
	地域医療介護総合確保基金	3,949	3,969	3,673
	新型コロナウイルス感染症対応中小企業金融支援基金	-	-	3,000
	後期高齢者財政安定化基金	2,029	2,213	2,394
	基金残高合計	118,127	116,646	119,274

令和2年度	石川県
-------	-----

基金全体

(増減理由)

・新型コロナウイルス感染症対策による財政出動により財政調整基金を取り崩した一方で、コロナ対策に関する県の制度金融の利子補給や信用保証料補助を実施するための基金を創設したことなどから、基金全体では約26億円の増となった。

(今後の方針)

・平成16年度の三位一体改革による地方交付税の削減や平成20年度のリーマン・ショックによる税収減により、財政調整基金・減債基金の2基金について、平成23年度までの10年間で396億円の取り崩しを余儀なくされ、また、令和2年度には、新型コロナウイルス感染症への対応として、医療提供体制の確保や厳しい経営状況にある企業の事業継続への支援など、思い切った財政出動による財政調整基金の取り崩しを行ったところである。
 ・今後も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や地域経済の正常化に向けた対策、北陸新幹線敦賀延伸の建設費等に伴う公債費の増加など、様々な財政需要が見込まれるため、引き続き、必要な資金の確保に努めるとともに、現在保有している基金は、県民生活の向上や本県のさらなる発展につながるよう、その時々々の財政状況も踏まえながら、有効に活用していく。

財政調整基金

(増減理由)

・新型コロナウイルス感染症対策による財政出動により約14億円を取り崩した。

(今後の方針)

・令和3年度は、累次にわたる新型コロナウイルス対策に係る補正予算を編成し、令和2年度末で108億円余だった残高が約24億円にまで減少するところ、コロナ対策に要する財源確保の要望による地方創生臨時交付金の追加増額や事務事業の効率的な執行による財源の節減額の活用等により、基金を取り崩すことなく、残高もコロナ前の令和元年度末の水準まで復元することとしている。県の行政経営プログラム2020では、財政健全性の維持・向上に向け、財政調整基金と減債基金の2基金残高を前年度以上することを目標としており、今後の不測の事態などに備え、基金残高を確保し、持続可能な財政運営の維持に努めていく。

減債基金

(増減理由)

・令和元年度は公債費の償還財源として約18億円を取り崩したが、令和2年度は取り崩しを行わなかったため増減はなかった

(今後の方針)

・今後も北陸新幹線敦賀延伸の建設費等に伴う公債費負担の増加などが見込まれるため、こうした状況に備え、必要な資金を基金に積み立てていく。

その他特定目的基金

(基金の用途)

・県有施設整備などの大規模プロジェクトに備えた県有施設整備基金をはじめ、社会福祉の充実のための基金や災害対応のための基金、農業や林業の振興のための基金を設置するなどしている。

(増減理由)

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に関する県の制度金融の利子補給や信用保証料補助を実施するための基金を創設（30億円）したことなどから、その他特定目的基金の残高は増となった（基金の取り崩しは令和3年度から）

(今後の方針)

今後の増減が見込まれる主な基金

・新型コロナウイルス感染症対応中小企業金融支援基金：中小企業者等への金融上の支援に充当するものであり、今後の取崩しにより残高は減少で推移する見込み
 ・人材確保・定住推進基金：県内産業の人材確保や移住定住の推進の取組みに対して充当するものであり、今後の取崩しにより残高は減少で推移する見込み